学校番号	1008

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・手芸品を創造的に制作し、服飾に活用することができるようになることが目標です。
・基本をしっかり身につけることがよい作品づくりにつながります。丁寧に、根気強く作品制作に取り組んでください。
・授業では安全に十分留意し、集中して実習を行いましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
手芸の美的価値及び制作工程に関する課題を発見し、手芸品を創造的に制作する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
創造的な制作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、服飾に活用できるよう合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、服飾手芸に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	ファッションデザイン及びファッション造形のための素材づくりに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	基礎縫い	基礎縫い練習 ピンクッション作り タブレットケース制作	a:基本的な技術を理解している b:創意工夫をし、オリジナルの作品が作れている c:自ら技術の向上や新しい知識や技術を習得しようとしている	作品 実技テスト ワークシート	ワークシート レポート 作品	ワークシート レポート 作品
	手縫い	刺し子のコースター作り				
2	刺繍	クロスステッチ	a: 刺繍の基礎的・基本的な技術を身につけ、計画通りに進めることができる。 b: 見本を見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を理解し、技法や仕上げの方法を考え、自分の作品制作に活かす事ができる。 c: 各種手芸の特徴や変遷、技法などについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。			
	ミシン	オリジナルトートバック作り	a:製図・裁断・縫製など被服製作に必要な知識・技術を理解し、自ら計画して進めることができる。 b:想像したものを形にすることができる。創意工夫をし自分のオリジナル作品がつくれている。 c: 自ら技術の向上や新しい知識や技術を習得しようとしている。			

3	編み物	アクリルたわし	a:編み物の基礎的・基本的な技術を身につけ、計画通りに進めることができる。 b: 見本を見たり触れたりして、手芸の技法や特徴を理解し、技法や仕上げの方法を考え、自分の作品制作に活かす事ができる。 c:編み物の特徴や変遷、技法などについて関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 実技テスト ワークシート	ワークシート レポート 作品	ワークシート レポート 作品
	立体制作	テディベア	a:これまでに学んだ知識や技術を活かし、立体的な制作を行うことができる。 b: 手芸の技法や特徴を理解し、技法や仕上げの方法を考え、自分の作品制作に活かす事ができる。 c:これまでに学んだ知識や技術を活かし、自ら考えて制作しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度